

木造住宅・木造建築物等の整備促進に関する調査・普及・技術基盤強化 成果報告書

事業の名称	枠組壁工法技術基準解説テキスト「釘打ちの手引」の作成
事業者情報	事業者名： 有限会社 ホームリサーチワン 事業担当者名： 佐藤 勇 連絡先： 03-3910-4600
補助事業の区分	木造住宅・建築物等の整備推進に関する ①調査を行う事業 ②普及を行う事業 ③技術基盤強化を行う事業 以上の①から③の中から該当するものを選択し、○をつけて下さい。）

1. 事業の概要

ツーバイフォー工法がオープン化された昭和49年以降の住宅着工棟数は、着実に伸長しており、全住宅着工数に占めるシェアはこの20年間をみると10年単位でほぼ倍増している。今や木造住宅の20%を占めるまでになったツーバイフォー工法は、耐震、耐火などの基本性能の高さに定評のあるところである。

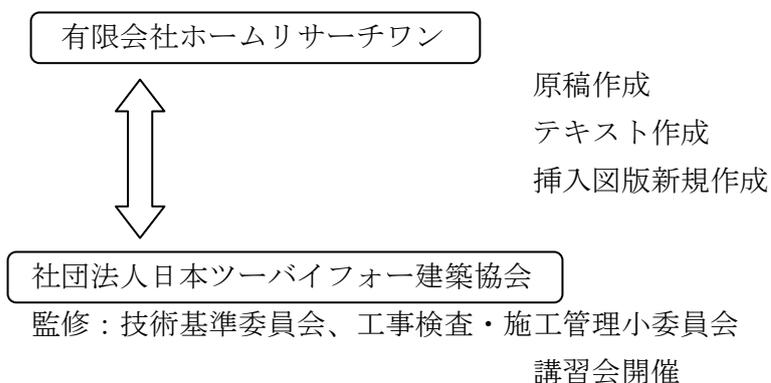
一方、ツーバイフォー工法の技術基準は国土交通省告示1540号等で定められており、基準を順守した施工がその高品質を担保する事となることとなり、施工技術者、技能者に対する指導教育が急務ともいえる。

我々は、ツーバイフォー工法の基本である釘打ちに着目し、ビジュアルな手引書の作成を企画した。

国土交通省告示基準1540号および、独立法人住宅金融支援機構「枠組壁工法住宅工事仕様書」等にある釘打ち基準をピックアップした講習会テキストとして利用できるビジュアルで解り易い「釘打ちの手引」書を作成する。

作成にあたっては、ツーバイフォー協会の監修を受けて行うものとした。

【事業体制】



※本報告書は各ページ毎に1つの項目を記載することとし、全3ページとする。なお、本報告書以外にも別添の資料がある場合は2枚を限度に本報告書に添付すること。

2. 事業で得られた成果

図版等を多用したビジュアルなテキストにより、受講者は的確に釘打ち基準を理解することで、高品質なツーバイフォー住宅の供給に資する事となる。

ツーバイフォー工法にとって釘打ちは基本中の基本であり、正しい設計、施工を徹底する為には欠かせないポイントである。その釘打ちの基本を新規参入者などに伝えて良質な住宅ストックの形成に資することができる。

成果品となる「手引」は、ツーバイフォー協会が主催する講習会で活用できる体裁でデータを提供するとともに、ホームページ (<http://www.2x4assoc.or.jp/>) で公開する。

4. 2階床枠組

4-5 床下張り (1)

1. 概要

① 床下張材 (受け材あり)

図 4-19 床下張材 (受け材あり) のくぎ打ち

② 床下張材 (受け材省略)

図 4-20 床下張材 (受け材省略) のくぎ打ち

※くぎ受け材を省略する場合は、本宅に加工された床根太を使用し、床用現場検査票を添付する。

緊結する部分	緊結する方法			打打ち方	交差機構仕様番号	図
	くぎの種類	くぎの本数	くぎの間隔			
床下張材 ⇒ 床根太 床ばり 受け材	CNS50	(床下張材の厚さ 15mm 以上の場合は CNS5)	両辺部 150mm 以下 中間部 200mm 以下	F	4.9.9 -7.4 表示	4-16
						4-17
<40㎡を超える区画> 床下張材 ⇒ 床根太 床ばり 受け材	CNS50	(床下張材の厚さ 15mm 以上の場合は CNS5)	縦方壁筋上 100mm 以下 150mm 以下 (検査票 9と兼用)	F	4.9.10.4	4-16 4-17

25

5. 壁枠組

5-3 壁開口部 (1)

1. 概要

図 5-20 開口部

緊結する部分	緊結の方法			打打ち方	交差機構仕様番号	図
	くぎの種類	くぎの本数	くぎの間隔			
2枚合わせのまぐき (合板のみ)	CN75	2本	両面から それぞれ4本	F	4.10.6-5	6-1 6-3
まぐき受け ⇒ 窓台	CN90	2本		E	4.10.6	6-1
又は 窓台 ⇒ まぐき受け	CN75	2本		T	-7.4	
まぐき受け ⇒ たて枠	CN90	2本	中間部 平角 200mm 以内	F	4.10.6	6-1
又は 窓台 ⇒ たて枠	CN75	2本		T	-7.4	
開口部下部たて枠 ⇒ 下枠	CN75	2本		E	4.10.6	6-1
又は 下枠 ⇒ 開口部下部たて枠	CN90	2本		E	-7.4	
たて枠 ⇒ まぐき	CN90	4本		E	4.10.6	6-1
又は まぐき ⇒ たて枠	CN75	4本		E	-7.4	
開口部上部たて枠 ⇒ まぐき	CN75	3本		T	4.10.6	6-1
窓台 ⇒ 開口部下部たて枠	CN90	2本		E	4.10.6	6-1
両面開口部で寄金物又は ホルダラン金物を取付ける	CN90	両端部 2本	中間部 平角 200mm 以内	F	4.10.7.2 -4	6-1
両面開口部で寄金物又は ホルダラン金物を取付ける 下座たて枠 ⇒ まぐき受け	CN90	両端部 2本	中間部 平角 100mm 以内	F	4.10.7.2 -4	6-1

33

※本報告書は各ページ毎に1つの項目を記載することとし、全3ページとする。なお、本報告書以外にも別添の資料がある場合は2枚を限度に本報告書に添付すること。

事業の名称	枠組壁工法技術基準解説テキスト「釘打ちの手引」の作成
<p>3. 今後の展望及び成果の普及方法</p> <p>ツーバイフォー協会では、「ツーバイフォー基本講習会」「施工技術者講習会」「リフォーム講習会」「フレーマー講習会」等の講習会を全国的に開催してきた実績があり、引き続き23年度も同様の講習会が計画されている。</p> <p>こうした講習会で我々が提供する「釘打ちの手引」を活用することにより、現場技術者、技能者に対して効率的なスキルアップを図ることができる。</p> <p>構造躯体の施工におけるより一層の精度向上は、我が国にとって重要な課題となっている。そうした状況の中で、その施工を担う技術者、技能者の技能向上が住宅産業界にとって喫緊の課題でもある。</p> <p>ツーバイフォー協会主催講習会 予定講習会（東京開催予定）</p> <p>「ツーバイフォー工法基本講習会」4月、10月ほか 「ツーバイフォー工法施工技術者講習会」8月ほか 「ツーバイフォーのリフォーム講習会」5月ほか 地方都市開催スケジュールは未定</p>	

※本報告書は各ページ毎に1つの項目を記載することとし、全3ページとする。なお、本報告書以外にも別添の資料がある場合は2枚を限度に本報告書に添付すること。